

わずか半年余りで今回の大地震が発生している。

日本列島は、地球規模からみた一カ月間（人間からみると30年間）に大地震が数多く発生している。

60年前の新潟地震は、震源地が山形県境付近だったので、災害は下越地区に集中した。

今回の地震で割残っている二つの断層は、より新潟県に近い位置に至る。津波・揺れ・地割り（新潟県は、全国で一番多く災害が発生している。中越地震では大規模な地滑りが発生して、全村が非難した）、液状化現象等、過去に経験したことがない複合型の災害が発生するのではないかと心配している。

自然災害は人間が防止することは不可能であるが、災害に備えて事前に準備をすることは可能である。

災害は忘れたころにやって来る・・・今はそんな呑気なこと云っている場合では無い。大きな災害が発生すると一番必要なのは飲料水であるが、これは量が多くないので、給水車またはヘリコプターで間に合う。

しかし、生活用水（トイレ・風呂・洗濯等）は大量に必要なので全く間に合わない・・・能登地区の災害現場を見れば説明の必要がない。

わしは現在、川の水をポンプで取水して、生活用水を作る。小型の移動式浄水装置の開発に取り組んでいる。

可能であれば、飲料水も作ればベターだと思っている。

機械の性能・生産能力30立方メートル／1h（ドラム缶150本）

コスト100円／ドラム缶1本・重量1,500kg（自衛隊のヘリコプターで運送可能）

人助けになるので、精魂込めて開発中。

4月上旬に公会実演発表会を行う予定

ガンバレ・バリバリのスーパーマン

